

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	競技者育成プログラム普及促進事業	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	スポーツ・青少年局	担当課室	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 芦立 訓		
会計区分	一般会計	上位政策	我が国の国際競技力の向上			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	スポーツ振興基本計画に基づき、トップレベル競技者を組織的・計画的に育成するため、競技者育成プログラムの更なる普及・啓発を行い、我が国の国際競技力の向上を目指す。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)「国際舞台で活躍するアスリート輩出のためのタレント発掘モデル事業」 各地域において優れた素質を有する競技者を発掘し、国際舞台で活躍できるトップアスリートへと組織的・計画的に育成することを目指している団体に委託し、プログラムづくり、事業をいかす仕掛けづくり、事業広報計画づくり、優れた素質を有する競技者の発掘・育成を計画的かつ組織的に行う。 (2)「指導者連絡協議会(コンソーシアム)」 講演、シンポジウム、事例発表・見学、研究協議(ワークショップ等)の開催及び事業報告書作成					
実施状況	(1)「国際舞台で活躍するアスリート輩出のためのタレント発掘モデル事業」 秋田県教育委員会、長野県体育協会、北海道上川北部の3地区において、事業を実施。 県教育委員会主体、県体育協会主体、市町村連携の3形態で、地域タレントの発掘・育成のモデルを構築。 (2)「指導者連絡協議会(コンソーシアム)」 財団法人日本オリンピック委員会(JOC)、財団法人日本体育協会、NF、地方競技団体、都道府県体育協会、都道府県教育委員会(スポーツ主管部局)、市町村教育委員会、学校体育関係者等による情報交換を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	11	11	11	0	—
	執行額	11	9	11		
	執行率	100.0%	82.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	11	9	11		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	・事業実施現場への実地検査を実施し、事務担当者との面接により、事業の進捗状況と経費支出状況の確認を行った。 ・委託先団体から提出される委託事業完了報告書、成果物により事業内容や経費の執行について確認を行った。 ・経費については、委託事業完了報告書に添付される証拠書類(賃金出納簿、見積書、納品書、請求書、領収書等)により適切な執行がなされているか検査するとともに、事業の内容、目的との整合性について確認を行った。				
	見直しの 余地	・モデル事業の成果の社会還元を更に促進するため、より効果的な実施方法について検討を行う必要がある。 ・より多くの団体から応募があるよう、公募期間の確保や公募条件及び方法等を見直す必要がある。 ※平成21年度限りで廃止。見直し内容については、他事業へも反映させる。				
予算 チーム 監視の 所見 効率化	本事業の当初の目的は達成されたと判断し、平成21年度をもって廃止している。					
補 記	【スポーツ振興基本計画】 II スポーツ振興施策の展開方策 3 我が国の国際競技力の総合的な向上方策 A 政策目標達成のため必要不可欠である施策 (1)一貫指導システムの構築					

# 競技者育成プログラム普及促進事業

文部科学省  
11百万円

職員旅費 0.2百万円  
庁費 0.2百万円  
その他 0.1百万円 } を含む

（スポーツ振興基本計画に基づき、トップレベル競技者を組織的・計画的に育成するため、競技者育成プログラムの更なる普及・啓発を行い、我が国の国際競技力の向上を目指す。）

【公募・委託】

A: 秋田県教育委員会  
3百万円

【公募・委託】

B: 財団法人長野県体育協会  
3百万円

【公募・委託】

C: 上川北部広域タレント発掘・育成事業組織設立準備委員会  
3百万円

【公募・委託】

D: 財団法人日本オリンピック委員会  
1百万円

【国際舞台で活躍するタレント発掘モデル事業】

「AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト」として、フェンシングに種目特化し、タレント発掘・育成事業を実施。

【国際舞台で活躍するタレント発掘モデル事業】

「長野SWANプロジェクト」として、スキー、ケート、カーリングに種目特化し、タレント発掘・育成事業を実施。

【国際舞台で活躍するタレント発掘モデル事業】

広域タレント発掘・育成支援室を核とした自治体連携(美深町、名寄市、下川町、音威子府村、中川町)によるタレント発掘・育成システムの構築や他県のタレント発掘事業と連携協力した種目間連携を実施。

【指導者連絡協議会(コンソーシアム)】

競技者育成プログラムに関わる諸関係機関の取り組みの発表や、講演、パネルディスカッション、まとめレクチャーを行い、タレント発掘事業と競技者育成プログラムの一貫指導システムの関係性を明確化し、関係者の連携の重要性を説くとともに、一貫指導システムへの理解を深める。

【随契・委託】

E: 仙台大学スポーツ情報マスメディア学科  
1百万円

【随契・委託】

F: 仙台大学スポーツ情報マスメディア学科  
0.3百万円

発掘した競技者を育成するための「ジュニアチャレンジスクール」における教育プログラム及び活動啓発プログラムの開発

上川北部地域内外で実施されている運動能力向上プロジェクト(アクティブ・プログラム)の教材化

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.秋田県教育委員会			E.仙台大学スポーツ情報マスメディア学科		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	実行委員・スタッフ等旅費	1.4	旅費	講師・アシスタント交通費等	0.8
再委託費	教育プログラム作成等	1.0	消耗品費	記録用DVD・ビデオテープ、印刷用紙等	0.1
諸謝金	講師謝金	0.2	その他	報告書印刷、編集作業謝金	0.1
消耗品費	記録用DVD、バランスボール等	0.2			
その他	会場借料、募集チラシ送料等	0.1			
印刷製本費	募集チラシ	0.1			
計		3.0	計		1.0
B.財団法人長野県体育協会			F		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	講師謝金	1.1			
旅費	実行委員・スタッフ等旅費	1.1			
印刷製本費	報告書印刷、チラシ印刷等	0.4			
通信運搬費	開催通知送付、報告書送付	0.2			
会議費	弁当代	0.1			
その他	会場借料、コピー用紙等	0.1			
計		3.0	計		
C.上川北部広域タレント発掘・育成事業組織設立準備委員会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	実行委員・スタッフ等旅費	2.1			
諸謝金	講師謝金	0.3			
再委託費	アクティブ・プログラム教材作成	0.3			
その他	会場借料、事務用消耗品費等	0.3			
計		3.0	計		0
D.財団法人日本オリンピック委員会			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	資料作成、報告書作成	0.6			
旅費	講師旅費	0.2			
借損料	パネル借料	0.1			
その他	事務用消耗品、開催案内発送代等	0.1			
計		1.0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)